

③0 リニア実施計画を認可したが：

10月17日、国交大臣
がリニア新幹線工事実
施計画を認可しまし
た。

どんな開発でも自然
への影響はありますが、このリニアで日本
が失うものはあまりに
も大きい。南アルプス
貫通で起こる水枯れな
どの自然破壊、東海道
新幹線の3倍の電力消

費、電磁波の影響、大
量の発生残土運搬、そ
して採算性への疑問も
尽きません。

リニアの完成は日本
に何をもたらすのか。

7月に国交省が作成
した今後の国土形成の
理念を示した「国土の
グランドデザイン20
50」には、リニア新
幹線によって東京、名
古屋、大阪の3大都市
を6千万人の一大都市
圏として国際競争力を
高める、としていま
す。都市の規模として
は中国・広州の320
0万人を上回る超巨大
都市の誕生というわけ

です。

しかし、移動距離が
短くなれば、わざわざ
地方に事業所を置かず
東京本社だけで対応す
る会社が出てきます。
大都市圏に人口、産業
が吸い寄せられるこの
「ストロー効果」の検
証は全くありません。

ところが国交省はグ
ランドデザインに「ス
トロー効果は起こらな
いという指摘がある」
と結論づけています。
委員会質疑で私がこの
根拠は何かと聞くと
「有識者懇談会での発
言を引用した」との答
弁。誰の発言かと聞く
と、「非公開で言えな
い」との答弁でした。
実はこの発言はJR東
海の葛西会長なので
す。葛西氏は有識者ど
ころかりニア建設を申
請する当事者です。ま
さに茶番です。

工事の認可と実際の
着工は別。強行着工を
許さないうたたいが続
きます。（辰巳孝太郎
日本共産党参院議員

コータローの 国会レポート



認可直後に穀田恵二衆
院議員と共に記者会見
11月17日

隔週で掲載)